

はねっと 11

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

サポセンを活用した人たちから「私のあしあと」

繋がり結んでより良いまちへ

地域みんなのつなぎ役

一般社団法人WITH(以下、WITH)は、地域の様々な主体をコーディネートすることで、地域で困っている人たちや地域課題の解決に取り組む団体を支援しています。ネットワークの基盤は、代表である中條めぐみさんの6年に渡る、主任児童委員としての活動にあります。民生児童委員の中でも特に子どもや子育ての相談・支援を担当してきました。現在のWITHの活動では、主任児童委員としての日頃の活動エリアや協力機関の枠を超え、市内全域を対象に、NPO・企業・学校などあらゆる組織と関わっています。

2022年7月、台原児童館に来る夏休み中の小学生を対象



▲本の面白さに子どもたちも夢中

に、絵本のおすすめのポイントを紹介して本への興味を引くブックトークイベントを開催しました。きっかけは、中條さんの元に届いた「困りごと」です。「夏休み、子どもたちが集まっても、コロナ禍で楽しみが少ない」と話すのは、台原児童館。「ブックトークの技術はあるけれど、子どもに親しんでもらう機会が少ない」と漏らすのはブックトークボランティア。さらに子育て支援クラブからは「コロナ禍で子どもたちと関わらず、活動は花壇整備だけ」といった悩みを聞きました。WITHのコーディネートによって、互いの状況を知った3者は、WITHと一緒に「できること」を持ち寄り、企画を実現させました。「子どもたちから、面白

一般社団法人 WITH

2022年4月設立。団体名は、活動の中で大切にしたい、「笑い」「居場所」「つながり」「ひと」の頭文字を取りました。地域で協力し合えるパートナーを募集中です。

Mail shadanwith@gmail.com

Twitter @WITH20220405



代表 中條めぐみさん▲

かったからまた聞きたい!という声もあった」と話すのは児童館職員。それぞれの困りごとを解決した先にあったのは、コロナ禍で窮屈な思いをしていた子どもたちの笑顔でした。中條さんは、「協力し合ったことで、お互いの困りごとが解決し、関わったみんなにメリットが生まれた」と手応えを感じています。

自分の気づきをカタチに

WITH立ち上げのきっかけの1つは、中條さんが主任児童委員として行った、母親対象の「子育てサロン」の運営です。子育てに悩む母親を目の当たりにした中條さんは、お茶飲みだけだったサロンに、保育士をコーディネート。保育士に食事や発達についての相談・質問ができる場を整え、参加した母親から大好評を得ました。「主任児童委員として、支援が必要な人を行政窓口につなげることしかできなかった」と悶々としていた中條さんにとって、自ら繋がりを作り地域の人の力を合わせることは、新しい可能性を感じた出来事でした。中條さんは「これまでの担当領域の枠を超え、コーディネートしてみたい」と考えるようになりました。思いを実現するため、2021年12月、サポセンに来館。組織化を目指して相談を重ね、2022年4月に一般社団法人を設立しました。

WITHがいるよ、と言ってもらえるように

組織化で活動の幅を広げたWITH。今後も地域にある多様な団体同士を繋げ、課題解決をサポートしようと構想中です。「困ったらWITHに声をかけてみたら?って言ってもらえるような団体になりたい」と中條さん。これからもWITHの挑戦は続きます。

仙台市市民活動サポートセンターで相談ができます

サポセンでは、ボランティアや市民活動、協働、企業の社会貢献活動などに関する幅広いお問合せ・ご相談に応じています。相談は無料です。

相談受付時間 / 平日 10:00~20:00 日曜・祝日 10:00~17:00(休館日をのぞく)



▲相談についてこちらから



～読者の目線から～社会の「気になる○○」

フードバンクの活動に私が支援できること

日頃、消費者問題に取り組む団体で、食品ロス削減等の環境問題やネット被害防止等に関する出前講座の講師を務めています。出向く先は、学校や消費生活センター等です。環境問題がテーマの講座では、食品ロス削減に効果的で生活困窮者への食料支援にもつながるフードバンクの取り組みを積極的に紹介しています。

2019年に「食品ロス削減推進法」が施行されたため、団体では食品ロスをテーマに研究会を立ち上げ、アンケート調査も実施。結果からは、国内の食品ロス量が年間522万トンある一方、食料が買えなかった経験がある世帯は11.3%もあるのに、フードバンクがあまり知られていないことが分かりました。これに問題意識を持ったのが、フードバンクの取り組みを紹介する理由です。

講座で話すうちに、活動の実態を伝えるには身をもって実情を知る必要があると考え、「フードバンク仙台」のボランティアに登録しました。そこで分かったことは、コロナ禍で収入が減り、水道光熱費の支払いに窮し食料も買えない家庭が増えていること。また、支援する側であるフードバンク仙台も資金や食品調達に苦慮し



▲2022年7月に行った弘前大学での出前講座でも、フードバンクへの支援を呼びかけました。

ている実態です。私が今、力を入れているのは出前講座だけでなく、セミナーの企画等でフードバンク仙台の現状を紹介し、支援をお願いする機会を広げることです。
(大西二郎さん 仙台市太白区70代)



▲フードバンク仙台への
応援はこちらから



活動を支える、人、モノ、こと「募集して」

宮城の魅力を伝える学生メンバー募集中！

COLORwebは、仙台・宮城の情報を学生が独自の視点で調査し発信するWebメディアです。取り上げるのは、気になるお店やイベント、ファッション、音楽など。学生編集部のメンバーを随時募集しています。

- ・宮城が好きでもっと魅力を発信したい人
- ・宮城県の高校生、短大・専門学校生、大学生
- ・編集や企画に興味がある人
- ・カメラ、デザイン(グラフィック、Web)が好きな人

※運営管理は、S-styleやKappo、machico(Web)などオリジナルの媒体を持ち、イベント主催も行っているユーメディアグループが行っています。



▲応募フォームは
こちら

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 11月9日(水)、24日(木)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年11月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

